

# 平成29年度霞ヶ浦の水質概況について

平成30年7月30日(月)  
環境対策課 霞ヶ浦対策G

## 1 湖内の状況

### ① COD (図1)

全水域平均で7.4 mg/Lとなり、28年度(7.2 mg/L)と比較すると0.2 mg/L高くなった。また、湖沼水質保全計画の目標である7.4 mg/Lと同等であった。

長期的には昭和54年度と平成21年度に2回のピークがあり、その後は概ね横ばいである。水域別では、9年度までは西浦の方が高かったが、10年度以降北浦の方が高く推移している。

### ② 全窒素 (図2)

全水域平均で1.0 mg/Lとなり、28年度(1.1 mg/L)より0.1 mg/L低くなった。

長期的にはほぼ横ばいで推移しており、近年は変動している。

水域別では、21年度までは西浦の方が高かったが、22年度以降北浦の方が高く推移している。

### ③ 全りん (図3)

全水域平均で0.092 mg/Lとなり、28年度(0.091 mg/L)より0.001 mg/L高くなった。

長期的には上昇傾向にあったが、20年度をピークとして、近年は横ばいである。

水域別では、17年度までは西浦の方が高かったが、18年度以降北浦の方が高く推移している。

図1 COD(年平均値)

水域/年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32 目標
西 浦	7.5	6.6	6.6	7.8	6.8	6.9	7.2
北 浦	8.3	7.3	7.5	8.9	7.8	8.4	7.8
常陸利根川	8.0	6.7	7.3	8.3	7.2	7.5	7.6
全水域平均	7.8	6.8	7.0	8.2	7.2	7.4	7.4

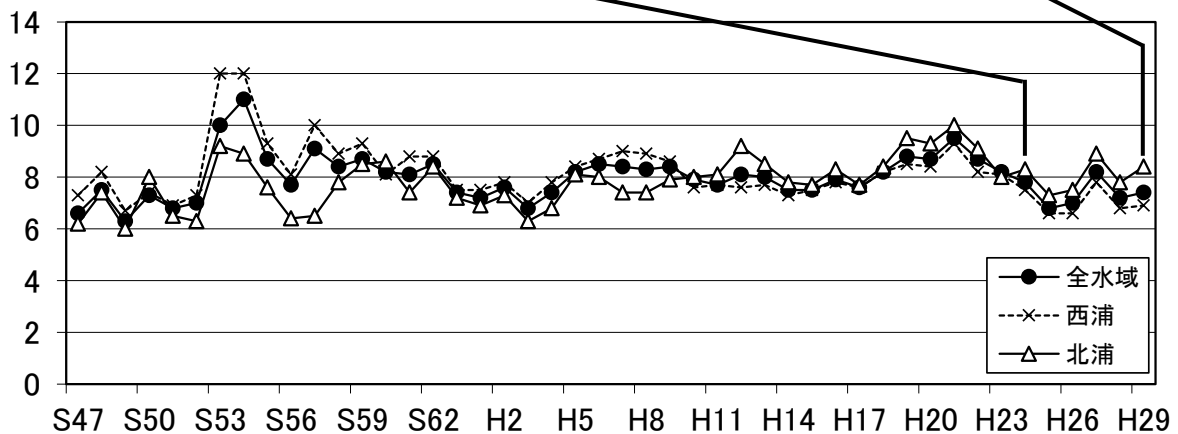


図2 全窒素 (年平均値)

水域/年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32 目標
西 浦	1.0	1.3	1.2	1.1	1.1	0.99	1.1
北 浦	1.2	1.4	1.4	1.2	1.3	1.2	1.1
常陸利根川	0.91	1.1	1.1	0.89	0.92	0.86	0.89
全水域平均	1.0	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0

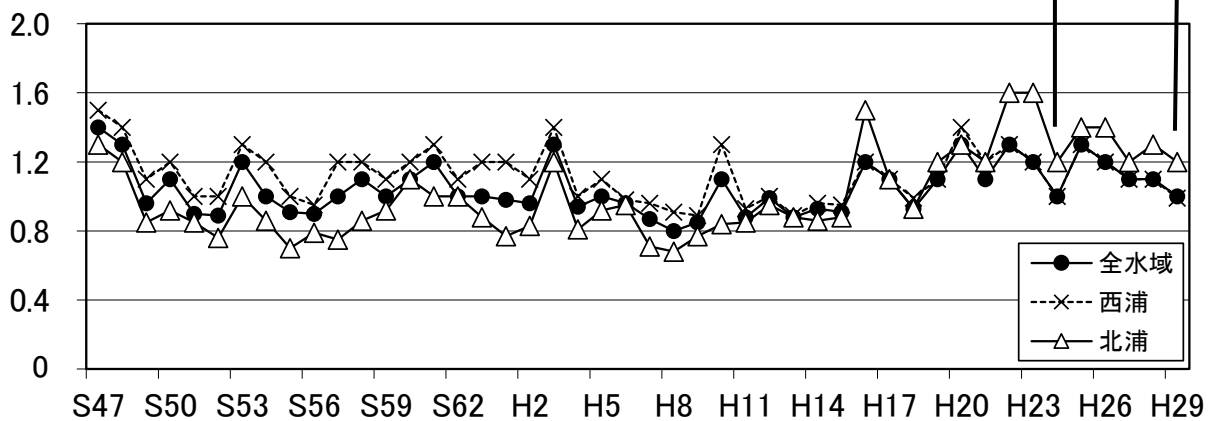
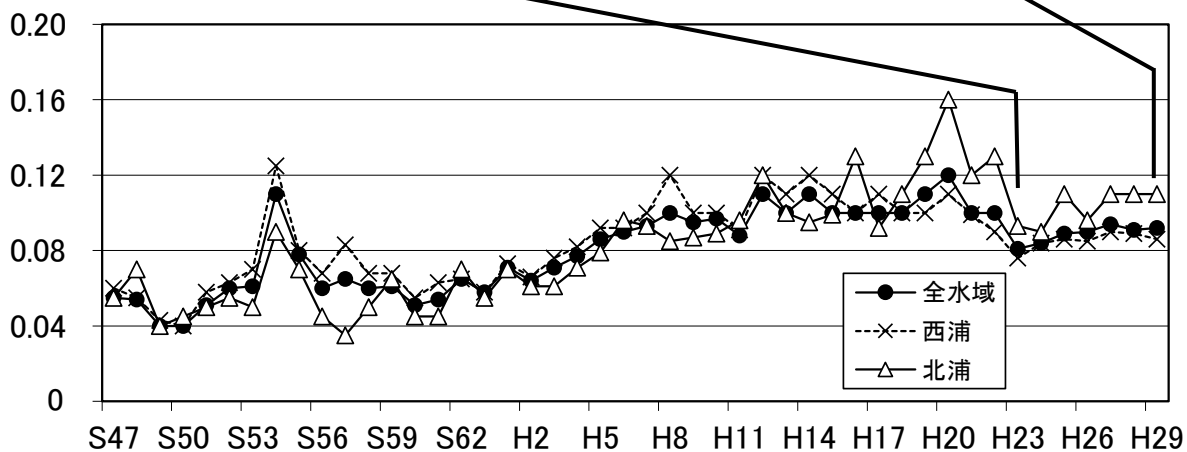


図3 全りん (年平均値)

水域/年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H32 目標
西 浦	0.084	0.086	0.085	0.090	0.089	0.086	0.080
北 浦	0.090	0.11	0.096	0.11	0.11	0.11	0.099
常陸利根川	0.080	0.078	0.092	0.090	0.082	0.088	0.080
全水域平均	0.084	0.089	0.090	0.094	0.091	0.092	0.083



## 2 流入河川の状況

### ① COD (図4)

西浦及び北浦流入河川ともに、長期的には低下傾向にあるが、近年は横ばいである。

### ② 全窒素 (図5)

西浦流入河川は長期的には横ばいである。

北浦流入河川は、20年度以降6～7 mg/L程度で推移している。

### ③ 全りん (図6)

西浦及び北浦流入河川ともに、近年は0.1 mg/L以下で推移している。

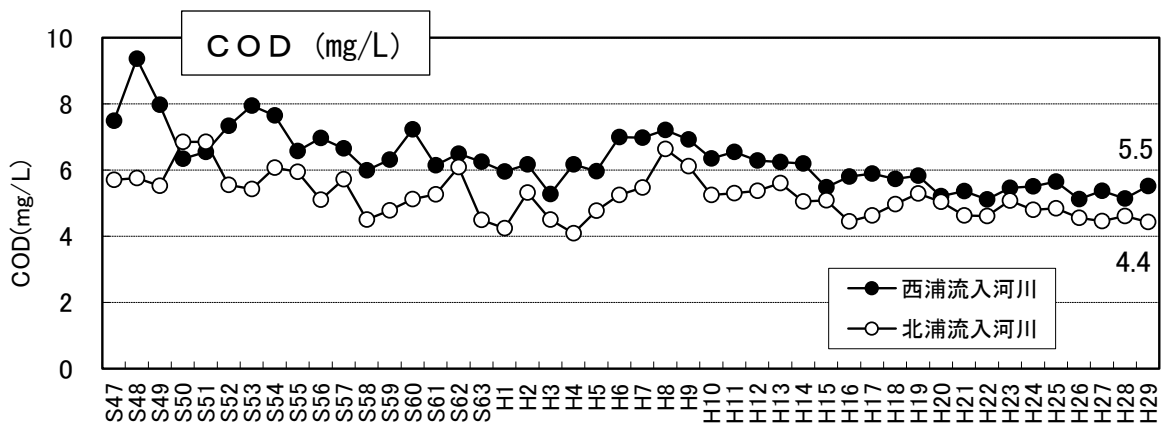


図4 流入河川のCODの推移 (年間加重平均値)

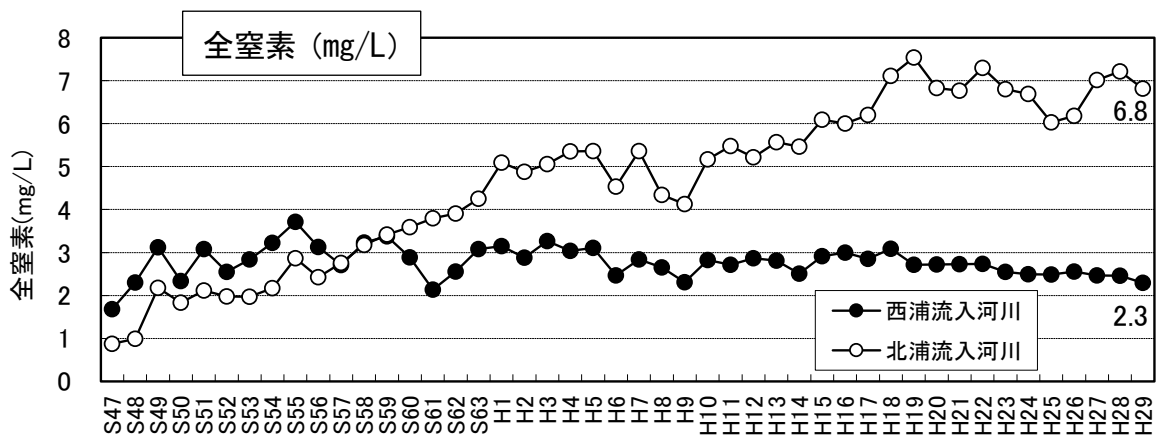


図5 流入河川的全窒素の推移 (年間加重平均値)

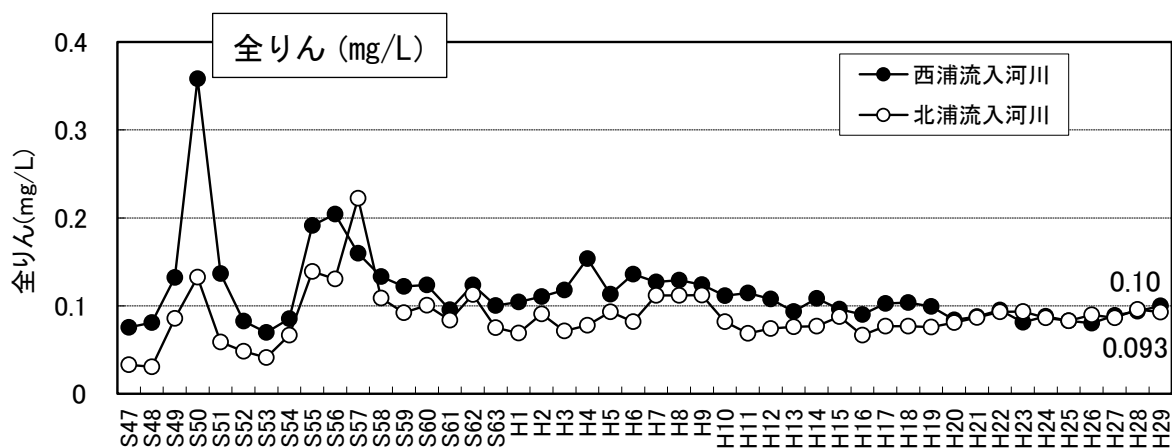


図6 流入河川的全りんの推移 (年間加重平均値)